

愛恵福祉支援財団 国際支援企画委員会

# カンボジア視察 報告書



2023年3月

愛恵福祉支援財団 国際支援企画委員会

# カンボジア視察 報告書



# 目次

- 4 ごあいさつ
- 5 研修日程
- 6 カンボジア専門ソーシャルワーカー協会訪問記録
- 8 Ministry of Social Affairs,  
Veterans and Youth Rehabilitation (MoSVY) 訪問記録
- 10 カンボジア地雷アクションセンター、  
AusCAM Freedom Project 訪問
- 11 カンボジアソーシャルワーカーの集い 記録
- 16 ソーシャルワーカーとの懇談会
- 18 視察を終えての感想

## 資料 (カンボジアソーシャルワーカーの集い)

- 19 カンボジアソーシャルワーカーの集い プログラム (クメール語版)
- 20 プログラム (英語版)
- 21 基調講演  
—— カンボジアのソーシャルサービス人材の進歩のために共に ——  
愛恵福祉支援財団理事長 遠藤 久江 (日本語版)
- 24 基調講演 (英語版)
- 28 APSWC 戦略的計画：  
ポジティブな社会変革のためにソーシャルワーカーをエンパワー  
Soeurng Sambath (APSWC 代表)
- 41 UNICEF Contribution for  
Social Service Workforce Strengthening in Cambodia  
Mr.Phok Sophea (UNICEF Child Protection Officer)
- 44 Japan's Experience : building system of care and  
Social Service Workforce development  
木村 真理子 (愛恵福祉支援財団理事)

# ごあいさつ

公益財団法人 愛恵福祉支援財団  
理事長 遠藤久江

日本はアジアの東に位置する国である。この度訪問したカンボジアはアジアの中心に位置する国であり、アンコールワットに象徴される、優れたクメール文化を生み出した国である。1990年代以前には大きな内戦があり、深い傷を負った国づくりが進められている。社会福祉の分野でも、緒についたばかりの観を呈しているが、その中で、ソーシャルワーカーとして、国づくりに大きく貢献できると考えている集団がある。

公益財団法人愛恵福祉支援財団のミッションに国際性が掲げられているが、2021年度より3年間の計画で、カンボジア専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）への支援がスタートした。愛恵としては継続的な海外への支援は初めての経験であるので、協会のメンバーにお会いし、カンボジアの実情を視察し、できれば政府、関係機関とコンタクトしたいと考えて訪問した。幸い協会あがての取り組みがあり、ソーシャルワーカーの集いを開催し、政府関係者とも会見し、意見の交換もできた。

専門職集団の自立的な発展は容易ではないことは想像するに難くない。しかし、国民にとって、幸せな生活を営んでいくための協働者として、ソーシャルワーカーの存在は無くてはならない存在である。財団の支援を機会にカンボジアのソーシャルワーカーのネットワークがより拡大され、強固なものになり、優れた専門職集団として発展していくことを願ってやまない。

この度のカンボジア訪問にあたっては、カンボジア在住の恩徳真理子氏の大きなご援助をいただいた。訪問先の調整、移動の手配、生活面でのご支援などきめ細やかな気遣いをしていただいた。心より感謝申し上げます。

2023年3月

# 日程

2023年

- 1月21日(土) 8:50 羽田出発、シンガポール経由でプノンペンへ  
17:20 プノンペン着 ホテルへ
- 1月22日(日) 8:30 ソーシャルワーカー恩徳真理子さんの案内でホテル出発  
National Museum, Killing Field など見学  
11:00 Association of Professional Social Workers of Cambodia (APSWC)  
(カンボジア専門ソーシャルワーカー協会) 事務所訪問、会議  
14:00 プノンペン市内観光 (マーケットなど)
- 1月23日(月) 7:30 ホテル出発  
8:30 Ministry of Social Affairs, Veterans and Youth Rehabilitation (MoSAVY)  
(カンボジア政府 社会問題・退役軍人・青少年更生省) 副大臣3人と面談  
10:30 CMAC (カンボジア地雷アクションセンター) へ移動  
11:00-12:00 CMAC で地雷の話聞く  
12:00-14:00 昼食 (移動時間含む)  
14:00-16:00 AusCAM Freedom Project (Sambath 氏勤務先の NGO) 訪問
- 1月24日(火) 7:00 ホテル出発  
7:30 会議会場到着 (Tonle Bassac Restaurant)  
「カンボジアソーシャルワーカーの集い」出席  
19:00 Sambath 氏他会議スタッフと会食
- 1月25日(水) 朝食後プノンペン空港よりシエムリアップへ  
11:00 シエムリアップ到着  
12:00 シエムリアップ市内のソーシャルワーカーと会食・懇談
- 1月26日(木) アンコールワット遺跡見学
- 1月27日(金) 10:40 シエムリアップ発 シンガポール経由 (乗り継ぎ8.5時間)
- 1月28日(土) 羽田到着

## 訪問記録

# カンボジア専門ソーシャルワーカー協会

(Association of Professional Social Workers of Cambodia ; APSWC)

日 時：2023年1月22日（日）11時～14時（含む昼食）

場 所：Association of Professional Social Workers of Cambodia, APSWC

（カンボジア専門ソーシャルワーカー協会）事務所訪問

住 所：Borey Lim Chheanghak #94B, Street 4B, Sangkat Dangkao, Khan Dangkao, Phnom Penh, Cambodia

出席者：Sambath Soeurng（会長）、Sophanara Pen（副会長）、Chakrya Chan（副会長・財務）、Soknan Prom（プログラムコーディネーター） Chanthou Chea（管理・会計）

遠藤久江理事長、平田美智子委員長、高原敏夫理事、木村真理子理事、立脇恵子委員、久保悦子事務局



事務所（賃貸）



自己紹介



対面での初めての会議



記念撮影

自己紹介の後、以下を協議した。

## 1. Sambath 会長より、愛恵の APSWC への支援の成果について報告などを受ける

- ① カンボジア政府のソーシャルワーカーの枠組みが定まらず、苦勞している。APSWC は会員の要件に、大学でソーシャルワークを学んだ専門職ソーシャルワーカー（専門職会員）と専門教育を受けていないがソーシャルワークの実践の経験がある準専門職ソーシャルワーカー（準専門職会員）の2種類としている。しかし、政府は、その2種類に加え、無資格ソーシャルワーカーと非専門職ソーシャルワーカー（教師や看護師）の2種類を加え、4種類をソーシャルワーク人材として認定していく方針で、また、確定はしていない。
- ② APSWC は 2014 年にカンボジアでソーシャルワーク専門教育を受けたソーシャルワーカーの団体として設立され、内閣府（Ministry of Interior）に登録。会員は、正会員（ソーシャルワーク専門教育を受けた専門職ソーシャルワーカーとソーシャルワークの学生）と準会員（ソーシャルワーク専門教育を受けていないが、ソーシャルワーカーとしての経験を有する）からなっており、会員数は現在 21 名。
- ③ ソーシャルワーカーとして、倫理綱領（code of conduct）を持ち、強いネットワークに支えられ、優れた実践活動を行うことを目標として活動してきた。

具体的な活動は、

- 人材育成（研修を政府研究機関と協働で提供、調査研究）
  - ネットワーク（国内外、ASEAN とのネットワーク、IFSW 加盟をめざす）
  - ソーシャルワークの社会的認知とソーシャルワーカーの地位向上（SW デーに参加）
  - 専門職としてのソーシャルワーカー資格化の方向づけ（政府と協働）
  - 専門職として倫理綱領の順守（行動規範、規約制定）
  - その他
- ④ 愛恵の支援で、2021 年より APSWC 事務所を借り、常勤のスタッフ 2 名雇用（会計担当、プログラム担当）。事務作業、広報活動を主に行うことになり、活動が安定した。
  - ⑤ 保健福祉省は、ソーシャルワーク人材の強化のため、ソーシャルワーカーの人材開発、養成を図る目的で、「登録ソーシャルワーカー」制度導入を検討している。APSWC が政府と協働でソーシャルワーカーの資格制度・政策提言を行うことを目指している。
  - ⑥ APSWC の活動資金は唯一の支援者である愛恵に頼っており、財政支援を継続してほしい。

## 2. 愛恵（遠藤理事長）より APSWC へのメッセージ

- ① 今後、1 年半の支援は継続する。
- ② ソーシャルワーカーの役割は、社会福祉の専門知識・技術の向上、法律制定への働きかけ、社会福祉制度の充実にあるので、その3点を意識して活動してほしい。

文責 国際支援企画委員長 平田美智子



訪問記録

## カンボジア政府

# 社会問題・退役軍人・青少年更生省

Ministry of Social Affairs, Veterans and Youth Rehabilitation (MoSVY)

日 時：2023年1月23日（月）8：30～10：30

場 所：788,Preah Monivong Blvd, プノンペン、社会問題・退役軍人・青少年更生省 会議室

出席者

MoSVY 出席者：H.E.Toch Channy（General Director of Social Affairs Service）

H.E. Malyno Yeap

You Sopheak（Director Department of Victims Protection）

愛恵出席者：遠藤、平田、高原、木村、立脇、久保（恩徳）



## 自己紹介

### 1. Mr.Channy（副大臣）よりカンボジアの社会福祉制度と人材育成に関する説明

- カンボジアは地雷、子どもの保護（孤児）、子どもの薬物依存、老人、ひとり親、洪水などの災害など、多くの社会問題を抱えており、社会政策省（MoSVY）の改革が急務である。
- 社会政策省では、①社会福祉サービスの拡充、②IT化、③法整備（障害者福祉法、児童保護法など）を進めている。
- 2016年に“Guidelines on Basic Competencies for Social Workforce in Cambodia”が制定され、専門職ソーシャルワーカーとしての一定の水準を保つソーシャルワーク人材の養成を目指している。
- 方向性としてはソーシャルワーク人材の組織化と専門職化を考えている。

### 2. 愛恵より

- ソーシャルワーカーの専門職の組織である APSWC を支援してほしい。
- 政府が進めるカンボジアのソーシャルワーカーの資格や人材育成に APSWC も参加させてほしい。
- APSWC が国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）に加盟することにより、世界的に認められ、交流できることを願っている。

### 3. MoSVY より愛恵に期待する事

- これまでカンボジアへは主にユニセフなど欧米の NGO 団体が支援してきたが、カンボジア政府はアジアの日本から社会福祉の政策や技術を学びたいと思っている。
- 愛恵が APSWC を支援してくれることに感謝している。
- APSWC にも、ソーシャルワーク人材のワーキンググループに加わってほしい。

### 4. 質疑応答

- ① 愛恵よりカンボジア政府へ：ソーシャルワーク人材の質の担保であるが、日本は 30 年以上前社会福祉士など国家試験による国家資格を導入したが、単に登録制度による国（シンガポール、マレーシアなど）もある。カンボジアはどの方向を目指しているのか？

答え：今のところ、登録制度を考えている。

- ② APSWC より政府へ：APSWC がソーシャルワーカーの登録制度（研修や登録事務）などに関与することは考えられるか？

答え：APSWC にも是非関わってほしい。ソーシャルワークデーでは、共に行動してほしい。

以上

文責 国際支援企画委員長 平田美智子

1月23日（月）11：00～12：00

### カンボジア地雷アクションセンター（CMAC）訪問

CMACとは（JICAのホームページより）

Cambodian Mine Action and Victim Assistance Authority（CMAA：カンボジア地雷対策・被害者支援庁）の管理・監督の下、政府機関であるCMACの他、カンボジア軍、Halo Trust、MAGが地雷・不発弾除去活動を行っている。



カンボジアは、1999年に対人地雷禁止条約（オタワ条約）を批准し、2019年を期限として同条約で義務付けられている埋設地雷の除去に向けて「地雷対策国家戦略（2010-2019）」を遂行している。しかし、今なお年間百人以上の地雷・不発弾被害者（2015年被災者111人）がでており、地雷・不発弾除去の活動に対して、資金的にも技術的にも、継続的な支援が不可欠である。

現在、日本、アメリカ、ドイツが直接CMACに対しての支援を行っており、日本は最大の援助国として1998年度以降、地雷・不発弾除去活動に積極的な貢献を行っている。

- 日本人の職員である、恩徳氏よりセンターの案内・説明を受ける。
- 地雷の撤去には、地域住民の理解と協力が必要であること。
- 国際的な支援を、センターが設立、運営されている。特に、日本からの支援は大きな期待をされている（財政的支援に加え、技術的支援も）

1月23日 14：00～16：00

### AusCAM Freedom Project 訪問

2012年設立の、子ども・若い女性の保護のためのNGO。

本部はオーストラリアにあり、アメリカ合衆国など世界各国から財政的支援を受けている。支援の対象地は、カンボジアで、事務所では12人のソーシャルワーカーなどスタッフが働いている。相談者内容は、人身取引、性的搾取、オンライン児童性的搾取などで、オンラインでの被害が増大している（オンライングルーミング、脅迫、ビデオ・ライブ配信など）。



被害に対して、ソーシャルワーカーが危機介入の緊急支援を行い、安全を確保する。被害者の保護を優先するが、予防にも力を入れている。被害者たちは、SNSなどの危険性を意識していず、家族からも孤立しており、教育も十分ではない。子ども・女性たちにレジリエンスや安全、自信を持ってもらうよう、学校などに出向いてキャンペーンを行っている。

（この機関は、APSWCのSambath会長の勤務先で、案内していただいた）

文責 国際支援企画委員長 平田美智子

# カンボジアソーシャルワーカーの集い

—— カンボジアソーシャルサービス人材の進歩のために共に ——

2023年1月24日（火曜日）8：00-16：00

会場：トンレバサックⅡ・レストラン

主催：カンボジア専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）

## カンボジアソーシャルワーカーフォーラム 2023

テーマ：「カンボジア社会福祉サービスの人材養成の発展に向けて」

発表者：Mr Soeurng Sambath（カンボジア専門ソーシャルワーカー協会：APSWC 代表）

H.E. Toch Channy（カンボジア政府 社会問題・退役軍人・青少年更生省：MoSVY 副大臣）

Phok Sophea（UNICEF, Child Protection Officer）

遠藤久江（愛恵福祉支援財団 理事長）

木村真理子（愛恵福祉支援財団 理事）

1. 8：00- 受付
2. 8：30- 国歌斉唱（起立）
3. 8：35- 参加者の紹介 使用言語はクメール語 / 英語（通訳あり）  
日本側の紹介, カンボジア側の紹介, 全体で約 80 名の参加
4. 8：45- カンボジア専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）代表からの挨拶



代表 Soeurng Sambath 氏

カンボジアには多くの NGO でソーシャルワーカーの役割を担って働いているものがあるが、その役割自覚も少なく、専門的な訓練を受ける機会もなく、孤立した状況に置かれている。今回の会合はこのような状況を乗り越えて、一緒に集まって、ネットワーキングして情報交換をすることが狙いである。14 年前、自分が高校生の時に奨学金の申し込みをした時に何をしたいかと考えた。「社会福祉」という言葉も曖昧に理解していて、もっと単純な言葉だと考えていた。興味を持つようになって、公共サービスにかかわるようになった。王立プノンペン大学の社会福祉学専攻の第 2 期生となって、2003 年からフルタイムの NGO のスタッフとなった。ソーシャルワーカーは社会的に認知されること、法制化される

ことが必要。社会福祉の学部は、1 学年 100 人ぐらい(他の学部は 1000 人)。ソーシャルワーカーを増やすために、国家レベル、地域レベルで考える必要がある。ソーシャルワーカーの行動規範や規約制定も考えなくてはならない。専門職としての資格化なども検討する必要がある。発展には長い道のりが必要。だからそれぞれがパートナーを組んで協力し合っていきたい。

カンボジアのソーシャルワーカーの発展のために頑張りたい。

5. 9:00- 愛恵福祉支援財団理事長による基調講演(クメール語の通訳あり)



遠藤久江 理事長  
通訳: Veng Samnang 氏

タイトル: 「カンボジアのソーシャルサービス人材の進歩のために共に」  
(資料参照 P.21)

6. 9:20- カンボジア政府 社会問題・退役軍人・青少年更生省 (MoSVY) 副大臣によるプレゼンテーション



H. E. Toch Channy 氏

カンボジアは ASEAN の国の中でも遅れている。だからいろいろなところと力を合わせてやっていきたい。省庁がイニシアティブをとって社会福祉を率先してやっていきたい。それぞれがバラバラでやっている印象がある。だからまとめていきたい。それぞれが役割分担をすることが必要。専門家の協会も支えたい。ソーシャルワーク人材は現在足りていない状況。国が発展していくと豊かになって寿命が長くなる。平均寿命は 70 歳を越えてきている。ソーシャルワークのニーズは高まっている。簡単な問題ではない。地域間格差も大きい。協力しあってやっていく必要がある。法制度の強化、プロフェッショナルのソーシャルワーカーと共に足りない所を補完し合っていきたい。それぞれの観点からアイディアを出し合って一緒に協議していく。「社会福祉の日」を国家の日になれば、国民にも参加する意識が芽生えるかもしれない。皆の参加、市民の参加が重要。共有の文化

をもち、お互い様の気持ちを持てば、DVなども止めることができる。人から人に伝わることによって問題が共有される。個人のレベルで。みんな一緒に、国民の中で役立てるようになることが必要。

7. 9:50- 課題を話し合う (Sophanara さんがマイクをまわす)



- 1 自己紹介
- 2 職業・役職
- 3 仕事は直接援助活動か間接援助活動か
- 4 このフォーラムは役立つと思うか、何人の友達と話しをしたか

8. 10:30- APSWC 代表によるプレゼンテーション (Soeung Sambath 氏)

タイトル：「APSWC 戦略的計画：ポジティブな社会変革のためにソーシャルワーカーをエンパワー」

“APSWC Strategic Overview: Empowering social workers to make positive changes”

APSWC は普段は AP と略して言っている。はじめての専門職集団であり、ソーシャルワーカーをサポートするところである。主に6つのことを中心に活動している。1 ネットワークづくり、ソーシャルワーカー同士の協働、2 能力の向上、3 スタンドアードづくり、法令づくり、4 ソーシャルワークの調査活動、5 メンバーの高い倫理観の維持、6 ソーシャルワーカーの認定制度に向けての活動である。2008年王立プノンペン大学 (Royal University of Phnom Penh) の Tracy Harchi 先生などを中心に社会福祉学がスタート (Department of Social Work: DSW) して、社会福祉の基礎、専門職としての基準などが紹介された。APSWC は2014年にスタートしている。内閣府 (Minister of Interior) によって2015年に登録されている。現在抱えている課題として以下があげられる。1 登録制度、ガイドライン、能力向上、モニタリング、低い賃金、低い地位、2 ネットワークの欠如、団結がない、NGO・政府とのつながり少ない、3 インフラ不足、トレーニングのサポート、プログラムの欠如、情緒的なサポートがない、高等教育の場が少ない、キャリアパスなし (キャリア選択を躊躇することにつながる)、コミュニティの中でクライアントとソーシャルワーカーに対する資源が不足している、4 ソーシャルワーカーに対する誤解 (NGO スタッフや先生と思われる)、他の職業 (ヘルスワーカーや教育者) と間違われる。(その後2023年の活動計画、メンバーシッ

プの条件、メンバーになるメリット、申し込み方法、APSWC 紹介ビデオが上映される。

(資料参照 P.28)

- 9. 11:00- Q&A
- 10. 11:30- Lunch
- 11. 13:30- UNICEF Child Protection Officer によるプレゼンテーション  
(資料参照 P.41)



ユニセフ  
Phok Sophea 氏

カンボジアでは児童保護に関する問題が大きな課題となっている。しかし現実には児童保護を専門とする人が圧倒的に少ない。ASEAN の他の地域に比べてもまだまだ数は足りていない。援助が必要な人に対しての人材養成が早急に求められる。人材を増やすための中期計画(2022-2027)と長期計画(2028-2032)は資料の図にある通り。社会福祉サービス人材を増やすために、いろいろなビジネスケースの調査、カンボジア全土のそれぞれの地域におけるニーズのマッピング、法制度の確立、UNICEF をはじめいろいろな団体が協働で働くことが必要となる。地域システムの確立、人材開発に今後はもっと力を入れていきたい。

- 12. 14:00- 木村真理子理事によるプレゼンテーション  
タイトル:「日本の社会福祉資格制度について」(資料参照 P.44)



木村真理子理事  
通訳: Veng Samnang 氏

- 13. 軽食
- 14. Q & A
- 15. 閉会挨拶、写真撮影



集合写真

### 【所感】

ワークショップの目的であるソーシャルワーク間のネットワークづくり、政府間・NGO間とのコネクションづくりは達成できたように思う。愛恵福祉支援財団の果たしている役割は大きい。今後は、カンボジア内でのソーシャルワーカーの位置づけの明確化を自らの力で、政府や教育機関、個々の組織との関係を密にしながら作り上げていくことが重要である。また同時にソーシャルワーカーの育成もカンボジア専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）のような職能団体が中心となって、キャリアセミナーやワークショップなどを開くことで活性化できるようになっていくとよいと思う。愛恵福祉支援財団の委員会としても応援をしたい。

### （資料）

#### フォーラムのプログラム

- 愛恵福祉支援財団国際支援企画委員のメンバー紹介
- 遠藤久江理事長 基調講演資料（日本語版・英語版）
- APSWC 代表プレゼンテーションパワーポイントの資料
- 木村真理子理事プレゼンテーションパワーポイントの資料
- UNICEF Child Protection Officer プレゼンテーションパワーポイントの資料

文責 国際支援企画委員 立脇恵子



# カンボジア、シェムリアップ地域の ソーシャルワーカーとの懇談会

日 時：2023年1月25日（水曜日）11：45-15：00

会 場：ニアリー クメールレストラン

内 容：カンボジア シェムリアップ地域 ソーシャルワーカーとの懇談会（会食）

出席者：Mr Sophearin, APCT, Executive Director

Mr Bunhorm Mao, FSC, Project Manager

Mr Sreythea Hean, Safe Haven, Social Worker

Ms Se Chhin, This Life, Deputy Director

Mr Sam Ven, This Life, Children and Families Section

（一人体調不調のため欠席）

愛恵訪問団



1. 12:00- 遠藤理事長からの挨拶
2. 12:10- シェムリアップソーシャルワーカーの自己紹介
3. 12:40- 写真撮影など
4. 13:00- ランチを食べながらシェムリアップでのソーシャルワーク活動についてそれぞれヒアリング

- この地域のソーシャルワーカーでカンボジア専門ソーシャルワーカー協会 (APSWC) のメンバーは1名 (Mr Sophearin) のみ。(1/24 (火) のフォーラムにも参加している) 彼は社会福祉学の修士号を取得している。APSWC の代表のサム氏と同じ時期に王立プノンペン大学に在籍していた。以前は看護師として仕事をしていて、その後、病院のソーシャルワーカー (MSW) となっている。妻は臨床検査技師。男の子が三人いる。今後の APSWC の活動に積極的に参加したいと考えている。
- Ms Chhin は、参加者のうち唯一の女性ワーカーであった。いくつかの NGO に勤務した経験を持っている。医師になりたかったが経済的理由で諦めている。幼少期から両親はいない。家族は弟と二人だけだったという。プノンペンの NGO に長く勤務していて、そこでソーシャルワークの仕事を実践の中で学んでいる。その後シェムリアップの NGO に移った。障害のある子どもの家族の援助を主にしている。イギリスなどから PT、ST、OT、心理士などがボランティアで来て指導を受けている。男の子が二人いる。夫は Mr Sophearin と同じ職場にいる。
- Mr Bunhorm は Ms Chhin の同級生。英語を一緒に学んだとのこと。児童虐待、特に男の子で性被害にあった子どもを中心に援助している。アーリーティーンの子どもの中心。LGBTQ についての援助はあまり進んでいるとは言えないが、いくつか NGO の団体ができている。今後もっと進んでいけるといい。男の子と女の子がいるとのこと。

#### 【所感】

今回の懇談会に参加した現地のワーカーたちは、ソーシャルワークの専門教育を受けてきたというより、NGO の現場で、ソーシャルワーク実践を通して社会福祉を学んできている人たちが大半であった。主に 40 代であるので大学のカリキュラムが始まる前からのソーシャルワーカーたちということであろう。英語がとても堪能で、長年のキャリアと、組織での役職を持っている。選りすぐりのワーカーたちとの印象を受ける。積極的でカンボジアのソーシャルワークの発展のために使命感を持って仕事をしている様子が伺える。このような地方の優秀なワーカーたちをどれだけ取り込んでいけるかが APSWC の発展、そしてカンボジアソーシャルワーカー全体の発展につながっていくと考える。

文責 国際支援企画委員 立協恵子

# 視察旅行を終えての感想

公益財団法人愛恵福祉支援財団

理事 高原敏夫

大寒を逃れて日本の初夏を思わせる乾季のカンボジアでの経験は、愛恵福祉支援財団にとって貴重な実績となると思われる。

カンボジアのソーシャルワーク向上を目指した支援を行って1年半、支援によって開設したソーシャルワーカー協会事務所訪問、若く活発な会長以下数名のスタッフに会うことができた。翌日政府関係機関である保健福祉省を協会長と共に訪問し三人の副大臣に二時間余り面談が実現した。その翌日はソーシャルワーカー協会として重要なイベントである第二回総会になるイベント。(第一回は数名程度)今回は77名と関係者で80余名の参加があった。その中には前日お会いした三人の副大臣がおり、その一人から、内容をみてもフォーラムにした方がよいのではないかとの発言もあった。

会場設定を含めた諸費用は愛恵福祉支援財団・ユニセフの支援と参加費で開催できたのである。会の終了後会長に、今回のイベントで得た最大の収穫はと問うと、会員同士と行政との絆ができたこと即答してくれた。注意すべきは絆が深まったのではなく、できたことにある。

カンボジア専門ソーシャルワーカー協会の具体的な活動はスタートしたばかり、会員が増えて会が自立するまでは、外部からの支援が必要となるであろう。

愛恵福祉支援財団としては、あと1年半の支援期間が残っている。会の役員は若くて有能なスタッフが揃っているようだが、近くに役員の改選が迫っていること、スタッフは本業を持ちながらボランティアとして活動している等不安要素はあるが、どの国も同じようなプロセスを経て発展してきているのを見ると、今後も暖かく見守り支援していく必要があると思われる。

## 参加者

遠藤久江（愛恵福祉支援財団 理事長）

高原敏夫（愛恵福祉支援財団 理事）

木村真理子（愛恵福祉支援財団 理事）

平田美智子（国際支援企画委員会 委員長）

立脇恵子（国際支援企画委員）

久保悦子（愛恵福祉支援財団事務局）



សមាគមអ្នកវិជ្ជាជីវៈសង្គមកិច្ចកម្ពុជា

**ព្រឹត្តិការណ៍ដំបូងបង្អស់សង្គមកិច្ចកម្ពុជាឆ្នាំ២០២៣**

**ប្រធានបទស្តីពី "រួមគ្នាជម្រុញវឌ្ឍនភាពនៃកម្ពុជាសេវាសង្គមកិច្ចនៅក្នុងប្រទេសកម្ពុជា"**

រាជធានីភ្នំពេញ: ថ្ងៃទី ២៤ ខែមករា ឆ្នាំ ២០២៣ (៨:០០ព្រឹក - ០៤:០០ រសៀល)

ទីកន្លែងប្រជុំ: ភោជនីយដ្ឋានទន្លេបាសាក់២ (ផ្លូវ ៩៣ ខ័ណ្ឌ ចំការមន រាជធានីភ្នំពេញ)

របៀបវារៈនៃកម្មវិធី

ល.រ	ម៉ោង	សកម្មភាព	អ្នកទំនួលខុសត្រូវ	កំណត់សំគាល់
១	៨:០០-៨:៣០	ការមកដល់ និងការចុះឈ្មោះអ្នកចូលរួម	កញ្ញា ជា ចន្ទ/ លោក សុខ វិសាល	
២	៨:៣០-៨:៣៥	គោរពភ្លេងជាតិ	កញ្ញា ព្រី សុខណាន	
៣	៨:៣៥-៨:៤៥	កិច្ចស្នាដៃរបស់ ប្រកាសរបៀបវារៈនៃកម្មវិធី និងគណៈអធិបតី	ល.ស្រី វិបិន សុផាណាក់	
៤	៨:៤៥-៩:០០	មតិស្នាដៃដោយប្រធានសមាគមអ្នកវិជ្ជាជីវៈសង្គមកិច្ចកម្ពុជា	លោក សៀង សម្បត្តិ	
៥	៩:០០-៩:២០	សេចក្តីថ្លែងសុន្ទរកថាគន្លឹះរបស់ ប្រធាន Love and Grace Welfare Aid Foundation មកពីប្រទេសជប៉ុន	ល.ស្រី Hisae Endo	
៦	៩:២០-៩:៥០	បទបង្ហាញអំពី <b>"វឌ្ឍនភាពនៃកម្ពុជាសេវាសង្គមកិច្ចនៅកម្ពុជា"</b> ដោយគំណាងពី ក្រសួងសង្គមកិច្ច អតីតយុទ្ធជន និងយុវនីតិសម្បទា <ul style="list-style-type: none"> <li>- វឌ្ឍនភាពទូទៅ</li> <li>- ច្បាប់ និងគោលនយោបាយ</li> <li>- បញ្ហាប្រឈម និងការគាំទ្រ</li> </ul>	ឯកឧត្តម ពូ ចន្ទី (អគ្គនាយកសេវាសង្គមកិច្ច)	
៧	៩:៥០-១០:៣០	សម្រាកអាហារសម្រន់ និងការភ្ជាប់ទំនាក់ទំនងបណ្តាញ	កញ្ញា ជា ចន្ទ & ល.ស្រី គន្ធា កញ្ញា ព្រី សុខណាន	
៨	១០:៣០-១១:០០	បទបង្ហាញស្តីពី <b>"ស្ថានភាពបច្ចុប្បន្ន និងផែនការយុទ្ធសាស្ត្ររបស់ ស.អ.វ.ស.ក"</b> ដោយប្រធាននៃ ស.អ.វ.ស.ក	លោក សៀង សម្បត្តិ	
៩	១១:០០-១១:៣០	សំនួរ និង ចម្លើយ	ល.ស្រី វិបិន សុផាណាក់	
១០	១១:៣០-០១:៣០	អាហារច្រូត្រង់	កញ្ញា ជា ចន្ទ & ល.ស្រី គន្ធា	
១១	០១:៣០-០២:០០	បទបង្ហាញស្តីពី <b>"ការចូលរួមចំណែករបស់អង្គការក្រៅរដ្ឋាភិបាលក្នុងការអភិវឌ្ឍន៍សេវាសង្គមនៅក្នុងប្រទេសកម្ពុជា"</b>	លោក ភោគ សុភា (មន្ត្រីកិច្ចការពារកុមារ អង្គការ យូនីសេហ្វ)	
១២	០២:០០-០២:៣០	បទបង្ហាញស្តីពី <b>"ការចែករំលែកបទពិសោធន៍លើការអភិវឌ្ឍន៍សេវាសង្គមកិច្ចនៅប្រទេសជប៉ុន"</b>	ល.ស្រី Mariko Kimura	
១៣	០២:៣០-០៣:១០	សម្រាកអាហារសម្រន់ និងការភ្ជាប់ទំនាក់ទំនងបណ្តាញ	កញ្ញា ជា ចន្ទ & ល.ស្រី គន្ធា លោក សៀង សម្បត្តិ	
១៤	០៣:១០-០៣:៤០	សំនួរ និង ចម្លើយ	- ល.ស្រី វិបិន សុផាណាក់	
១៥	០៣:៤០-០៤:០០	បញ្ចប់កម្មវិធី និងការចែករំលែកអនុសាសន៍	ល.ស្រី វិបិន សុផាណាក់	

\*សំគាល់ សមាគមសូមរក្សាសិទ្ធិកែប្រែរបៀបវារៈខាងលើតាមការចាំបាច់។

☘ សូមស្ដេននៅទីនេះដើម្បីវាយតម្លៃនៃកម្មវិធី





Association of Professional Social Workers of Cambodia (APSWC)

**Cambodia Social Worker Gathering Event 2023**  
**Theme: “Together for progressing Social Service Workforce in Cambodia”**

Phnom Penh: 24 January, 2023 (8: 00 AM – 04: 00 PM)

Venue: Tonle Basac II Restaurant (534 Preah Monivong Blvd (93), Phnom Penh)

**Agenda**

No	Time	Activities	Person in charge	Remark
1	8:00-8:30	Registration and arrival of participation	Ms. Chea Chanthou/ Mr. Sok Visal	
2	8:30-8:35	National anthem	Ms. Prom Soknan	
3	8:35-8:45	Introduction - purpose, participants, agenda and delegates	Ms. Pen Sophanara	
4	8:45-9:00	Welcoming remark by the President of APSWC	Mr. Soeurng Sambath	
5	9:00-9:20	Keynote speech by President of Aikei- Love and Grace Welfare Aid Foundation from Japan	Ms. Hisae Endo	
6	9:20-9:50	Presentation on the progress of social service workforce development in Cambodia <ul style="list-style-type: none"> <li>- General Progresses</li> <li>- Laws &amp; Policies</li> <li>- Challenge</li> <li>- Support Needs</li> </ul>	H.E. Toch Channy (MoSVY)	
7	9:50-10:30	Refreshment & networking (focusing on getting to know each other)	Ms. Chea Chanthou & Ms. Kunthea/ Ms. Prom Soknan	
8	10:30-11:00	Presentation on Status update and Strategic plan from APSWC president.	Mr. Soeurng Sambath	
9	11:00-11:30	Q & A	Ms. Pen Sophanara	
10	11:30-1:30	Lunch	Ms. Chea Chanthou/ Ms. Kunthea	
11	1:30-2:00	Unicef’s contribution to developing Social Service Welfare in Cambodia	Mr. Phok Sophea (Child Protection Officer)	
12	2:00-2:30	Good practice: Japan experience on national social service workforce development (Social Work System)	Ms. Mariko Kimura	
13	2:30-3:10	Refreshment & networking (focusing on collaboration)	Ms. Chea Chanthou/ Ms. Kunthea/ Mr. Soeurng Sambath	
14	3:10-3:40	Q & A	Ms. Pen Sophanara	
15	3:40-4:00	Wrap-up, take photos, and closing	Ms. Pen Sophanara	

**\*Note:** The association reserves the right to amend the above agenda as necessary.

✚ Please scan here for evaluation programs



# ——カンボジアのソーシャルサービス人材の 進歩のために共に——

公益財団法人愛恵福祉支援財団  
理事長 遠藤久江

本日は皆様にお目にかかることができ大変うれしく思います。

愛恵福祉支援財団は1930年にアメリカのキリスト教の宣教師、ミス・ペインが東京近郊の貧しい人々が暮らす地域で、乳幼児や青少年の健全な生活を守るための社会福祉活動をしたことを出発点としています。50年ほどは実際の社会福祉事業をおこなっていましたが、現在は直接的な社会福祉事業は実施しておらず、国内外の様々な社会福祉活動や社会福祉の担い手を育てる活動への支援を行っています。

この90余年の間、日本の社会も大きく変わりました。日本は、1940年代に、第二次世界大戦でアジアの国々にも大きな苦しみと困難をもたらしました。また、1980年代からは日本の経済的な構造はアジアの国々、アジアの人々の犠牲の上に立って日本の豊かさを確立してきました。このような実態は社会福祉的な視点に立てば、即ち、その国々の人々の生活を大切にし、人権を尊重する考え方にたてば正しくありません。日本はアジアの国々の一員です。仏教を基盤にした共通の文化的な歴史を持つ近隣の国として、過去の過ちを繰り返すことなく、今できることは何かを考えて、アジアのそれぞれの国にとって有益な交流を考えていかなければならないと思っています。

愛恵福祉支援財団はキリスト教精神に基づき、健康で文化的な生活が営まれるように、互いに助け合って生きていく平和な社会建設に寄与していくことを理念としています。そして、そのことを実現するための活動を担う人々を育てる活動を支援しています。

また、財団のミッションは先駆性、国際性、献身性を掲げています。財団のこれまでの歩みに見られるように、人々の生活上の困難を解決しようとする先駆的な活動を支援してきました。2020年度COVID-19蔓延にあっては、国内外の70の団体に緊急支援をしました。スリランカ、バングラディッシュへも支援をしました。2021年度は社会福祉を学んでいる大学生に緊急支援をしました。

ミッションの2番目は国際性です。愛恵財団の初めはアメリカのキリスト者たちの支援で始まりましたので、外国との関係を大切にしてきました。外国の良いものを学び、外国に必要とされているものを支援することは、世界の平和を作り出すために必要であると考えています。3番目は献身性です。これはキリスト教の精神の通り、「自分を愛するように隣人を愛せよ」という教えに従って歩んできた、先達たちの姿勢に学びながら歩んでいます。

このような理念やミッションを実現する事業の一つが、カンボジア専門ソーシャルワーカー協会への支援です。

2022年2月に、JICA(Japan International Cooperation Agency)は東南アジア地域ソーシャルワーカー育成に関する情報集・確認調査を発表しました。カンボジア、タイ、ベトナム、ラオス、マレーシア。インドネシア。フィリピンの7か国のソーシャルワーカーの現状がよくわかります。この7か国を含むASEAN 諸国では様々な社会問題が起きてきており、社会福祉制度の充実がなされていますが、これらの制度のサービスを必要な人に繋げる社会福祉の人材の育成に着目してきています。その動きは2019年ASEAN全体で、ASEAN Training Centre for Social Work and Social Welfareの設立となり、2020年11月のASEAN首脳会議において、ソーシャルワークの専門職化とその拡大を促進する「ハノイ宣言」が採択されました。ASEAN 諸国は経済や医療、教育水準、社会保障の成熟度で地域差があり、国の中でも地域格差があり、各国の政策課題は多いと思われます。

JAICAの報告書によると、カンボジアにおけるソーシャルワーク人材(Social Service Workforce)の育成はUNICEFの支援によりこれまでも様々な形で実施されてきていることが記述されていました。そして、カンボジア政府は2020年にソーシャルワーク人材育成の強化を目指す、初の5か年計画を発表したと記述されています。このように社会福祉制度の充実の国家戦略が動き出し、ソーシャルワーク人材の育成が政策課題になってきたことは好ましい動きと思います。

社会福祉の政策が立案され、その担い手が育てられ、国民の意識が社会化していくことによって、社会福祉は国民にとって大切な制度になっていくのです。この動きの要はソーシャルワーカーの存在です。これからのカンボジアの発展において、ソーシャルワーカーの果たす役割は大変重要であると思っています。それは日本の歩が証明しています。

日本のソーシャルワーカーの歩みにも紆余曲折がありました。日本ソーシャルワーカー協会(JASW: Japanese Association of Social Workers)設立は1958年で世界ソーシャルワーカー連盟(IFSW International Federation of Social Workers)の世界大会が東京で開催されることを契機に誕生しました。当時の日本は、第2次世界大戦後の復興期で、社会福祉の法律もでき始めたばかり、ソーシャルワーカーの専門教育も不十分、ソーシャルワーカーの社会的承認もなく、活動の場も限られていました。日本ソーシャルワーカー協会の会員数は少なく、独自の活動もなかなかできませんでしたので、1960年代は活動を休止せざるを得ない状況でした。この時期、地方の一人の熱心なソーシャルワーカーがこの組織を守り、1970年代に現在の日本ソーシャルワーカー協会が再建されました。2000年代にはソーシャルワーカーの資格に関する法律もでき、社会福祉制度が充実してくるにしたがって、社会福祉の分野で働く人も増加してきました。現在では貧困対策、医療、高齢者、児童、障害者、学校、地域社会、司法等々の分野で多くのソーシャルワーカーが働いています。また、地方自治体でも多くのソーシャルワーカーが働いています。

しかし、日本のソーシャルワーカーの資格は医者や看護師のような業務独占ではありませんので、働く分野においては、職名は多様で、仕事の内容も多様で、準専門職としての働きをしているものも社会福祉のワーカーと認識されています。国民は様々な福祉サービスを受ける機会が多くなるにつれて、社会福祉への理解も深まり、ソーシャルワーカーの専門性も高くなってきました。しかし、まだまだ解決しなければならない課題は多くあります。

私たちソーシャルワーカーは、飢えや病や、苦しみや悲しみにある人々に寄り添っていこうとす

る集団です。私たちは人を思いやる暖かな心と、専門的な知識や技術をもってそれらの人々が自分の人生を生きていかれよう支援する役割を社会から託されている集団です。この役割は変化の激しいこれからの社会にとってますます重要になると思います。

このように認識は世界共通のものです。今日世界の300万人のソーシャルワーカーがIFSW (International Federation of Social Workers) に結集して、人間や社会の在り方についての価値を共有して活動しています。カンボジアの皆さんもこの仲間に加わって、学び合い、情報を共有して力強い活動をしてほしいと願っています。

私の尊敬する阿部志郎氏はソーシャルワーカーの役割は3つあると述べています。人々の命と生活を守るため、勇気をもって、社会の一步先を歩いていくこと、2つ目は社会の歩から一步遅れて、取り残された人はいないかを点検しながら歩くこと、3つ目は社会福祉のニーズを持った人々を支えながら、共に肩を並べて歩むことです。これらの役割の取り方は皆さんの日々のあゆみにおいても、そして、カンボジアの専門ソーシャルワーカー連盟のこれからの歩み方にも示唆を与えるものです。

ソーシャルワークは命と生活が守られ、安心と安全が保障され、人間の尊厳が認められる社会を目指したあゆみです。皆さまはそのためのかけがえのないお仕事をしています。これからも誇りと希望をもって、カンボジアの幸せな未来を築く大切な役割を担っていただきたいと願っています。

ありがとうございました。



# ——Together for the Advancement of Cambodian Social Service Human Resources——

Hisae ENDO, Representative Director  
Aikei Welfare Support Foundation

I am delighted to be here and to meet with everyone today.

The Aikei Welfare Support Foundation began in 1930 when Miss Payne, an American Christian missionary, was engaged in social welfare activities to protect the health of infants and young people in their daily lives in a poor neighborhood near Tokyo. For about 50 years, the foundation was engaged in actual social welfare work, but does not now directly perform social welfare work. Instead, we support various kinds of social welfare activities both at home and abroad as well as activities to nurture social welfare workers.

Japanese society has also changed drastically over the past 90 years. In the 1940s, Japan brought great suffering and hardship to Asian countries during World War II. Furthermore, since the 1980s, Japan's economic structure has established the prosperity of Japan at the expense of Asian countries and Asian people. From a social welfare point of view, that is, from the viewpoint of valuing the lives and respecting the human rights of people in those countries, this state of affairs is mistaken. Japan is an Asian country. As a neighboring country with a common cultural history based on Buddhism, I believe we must not repeat the mistakes of the past, but should think about what we can do now, and consider exchanges that will be beneficial to each of the Asian countries.

The Aikei Welfare Support Foundation is based on the Christian spirit, and its philosophy is to contribute to the construction of a peaceful society where people help each other to live healthy and culturally rich lives. We therefore support activities to nurture people who will take on the work of realizing such a society.

In addition, the foundation's mission upholds a pioneering spirit, internationality, and dedication. As can be seen from the foundation's history, we have supported pioneering efforts to solve people's daily-life difficulties. During the spread of COVID-19 in fiscal 2020, we provided emergency support to 70 organizations both in Japan and abroad. We also sent support to people

in Sri Lanka and Bangladesh. In fiscal 2021, we provided emergency assistance to university students studying social welfare.

The second aspect of our mission is internationality. As the Aikei Foundation began with the support of American Christians, we highly value our relationships with foreign countries. I believe that learning about good things in foreign countries and supporting the needs of other countries is necessary to create peace in the world.

The third aspect of our mission is dedication. As with the spirit of Christianity, we have come this far by learning from the stance of our predecessors, who lived in accordance with the teaching "love thy neighbor as thyself."

One of the projects that realizes this philosophy and mission is our support for the Professional Social Workers Association of Cambodia.

In February 2022, JICA (Japan International Cooperation Agency) published a compilation of information and a confirmatory survey on the training of social workers in the Southeast Asia region. The report makes it possible to gain a good understanding of the current situation of social workers in the seven countries of Cambodia, Thailand, Vietnam, Laos, Malaysia, Indonesia, and the Philippines. ASEAN countries, including these seven countries, face various kinds of social problems. Their social welfare systems are being improved, but the focus has been on developing human resources for social welfare to connect the services provided by these systems to those in need. This move resulted in the establishment of the ASEAN Training Centre for Social Work and Social Welfare throughout ASEAN in 2019, and the adoption of the Hanoi Declaration to promote professionalization and the expansion of social work at the ASEAN Summit in November 2020. ASEAN countries differ in the degree of maturity of their economies, healthcare, education levels, and social security, and as there are regional differences even within countries, each country appears to have its own various policy issues.

According to the JICA report, the development of the social service workforce in Cambodia has been carried out in various ways with the support of UNICEF. The report notes that in 2020 the government of Cambodia announced its first five-year plan aimed at strengthening the development of human resources for social work. I believe that the fact that the national strategy to upgrade the social welfare system has begun to move forward in this way and that the development of human resources for social work has become a policy issue is a positive development.

Through the formulation of social welfare policies, the nurturing of those who will carry on the work of social welfare, and the socialization of public awareness, social welfare will become an important system for the people of the country. The key to this movement is the presence of social workers. I believe that the role performed by social workers will be crucial for the future development of Cambodia. This has been proven by the history of social welfare in Japan.

There have been twists and turns in the history of social workers in Japan. The Japanese Association of Social Workers (JASW) was founded in 1958, when the International Federation of Social Workers (IFSW) held its global convention in Tokyo. This was during the period of reconstruction of Japan after the Second World War. Social welfare laws had just begun to be enacted, social workers were poorly trained, there was no social approval for social workers, and places where social workers could be active were limited. As the Japanese Association of Social Workers had only a small number of members, making it difficult for them to conduct their own activities, they little choice but to suspend their activities throughout the 1960s. During this period, a dedicated local social worker protected the organization, and the current Japanese Association of Social Workers was rebuilt in the 1970s. In the 2000s, a law was passed establishing a social worker qualification, and as the social welfare system improved, the number of people working in the social welfare field increased. Many social workers now work in areas such as poverty reduction, healthcare, the elderly, children, the disabled, schools, community society and the judiciary. There are also many social workers working for local governments.

However, since the social worker qualification in Japan does not lead to an exclusive occupation, as with doctors and nurses, the fields in which social workers are active consist of diverse job titles and job descriptions, and people working as paraprofessionals are also recognized as social welfare workers. As opportunities for citizens to access a variety of welfare services has increased, their understanding of social welfare has grown, and social workers have become more specialized. However, there are still a great many issues that need to be resolved.

We social workers are a group that tries to bring sympathy to people who are hungry, sick, suffering and sad. We have warm hearts that care for others, professional knowledge and skills, and we are a group entrusted by society with the role of helping those people to be able to live their own lives. I think this role will become more and more important in the rapidly changing society of the future.

Thus, recognition of our work is globally universal. Today, the three million social workers in the world are gathered together as the International Federation of Social Workers (IFSW), sharing our values about how people and society should be. I hope that all of you in Cambodia will join us in learning from each other, sharing information and engaging in bold activities.

A person for whom I have great respect, Mr. Shiro Abe, says that social workers have three roles. Firstly, we must walk bravely one step ahead of society in order to protect people's lives and livelihoods. Secondly, we must walk one step behind society to ensure that no one is left behind, and thirdly, we must walk shoulder to shoulder while supporting people who have social welfare needs. These roles will give you hints both in your personal daily work and in the way the Professional Social Workers Association of Cambodia will move forward.

Social work is a practice that aims for a society in which people's lives and livelihoods are

protected, safety and security are guaranteed, and human dignity is recognized. All of you are doing invaluable work in that direction. I hope that you will all, with pride and hope, continue to play an important role in building a happy future for Cambodia.

Thank you very much.



# Strategic Overview

*'Empowering social workers to make positive changes.'*

## Who we are?

The Association of Professional Social Workers of Cambodia (APSWC) is the first and only dependent professional social work body in Cambodia solely dedicated to supporting social workers and empowering them to promote social welfare, human rights, and social justice.

### **We do so by:**

1. Promoting networks & collaboration among social workers
2. Enhancing capacity for our members (and social workers)
3. Contributing to building professional standards and legislations
4. Promoting to social welfare researches
5. Maintaining high benchmark of practicing code of conducts among members
6. Collaborating with relevant stakeholders to develop accreditation system for social workers

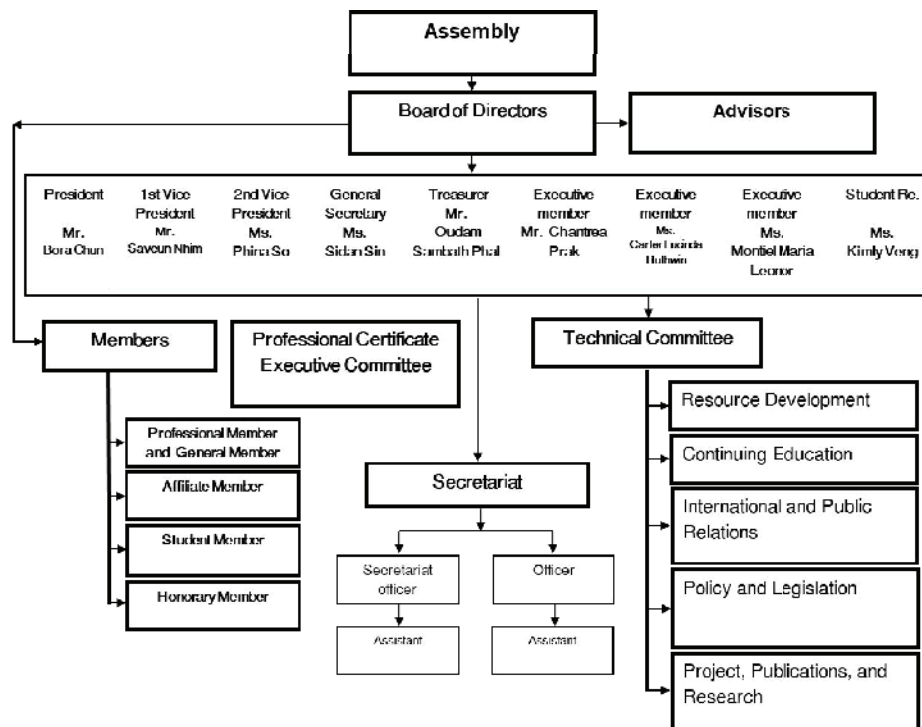
## History

Since the establishment of the Department of Social Work (DSW) of Royal University of Phnom Penh in 2008, its founders or pioneers, namely, Tracy Harachi, Ung Kimkanika, Chun Bora, Leang Lo, Ngoun Kanika, Meng Dalin, Phal Oudam Sambath, began to introduce professional social work education in Cambodia and they have revealed that Cambodia didn't have:

- A common understanding of social work;
- Agreement of competencies upon graduation across all BSW programs or clarity on how MSW links to BSW;
- Job classification within government; and,
- Recognition of minimum standards of knowledge and skills to hold the title of “professional social worker”

These had enabled the formation of APSWC, with its first official Executive Board of Director meeting held on 29th November, 2014. The APSWC registered officially with the Ministry of Interior on May 05, 2015.

### List of Founding Board Officers and original structure



## Our vision

*'To see social work become a profession in Cambodia with a high code of conduct, a strong support network and a commitment to excellence in practice.'*

## Our Team



**Pen Sophanara**  
Vice President



**Chan Ratha**  
Director



**Soeurng Sambath**  
President



**Chan Chakrya**  
Treasurer

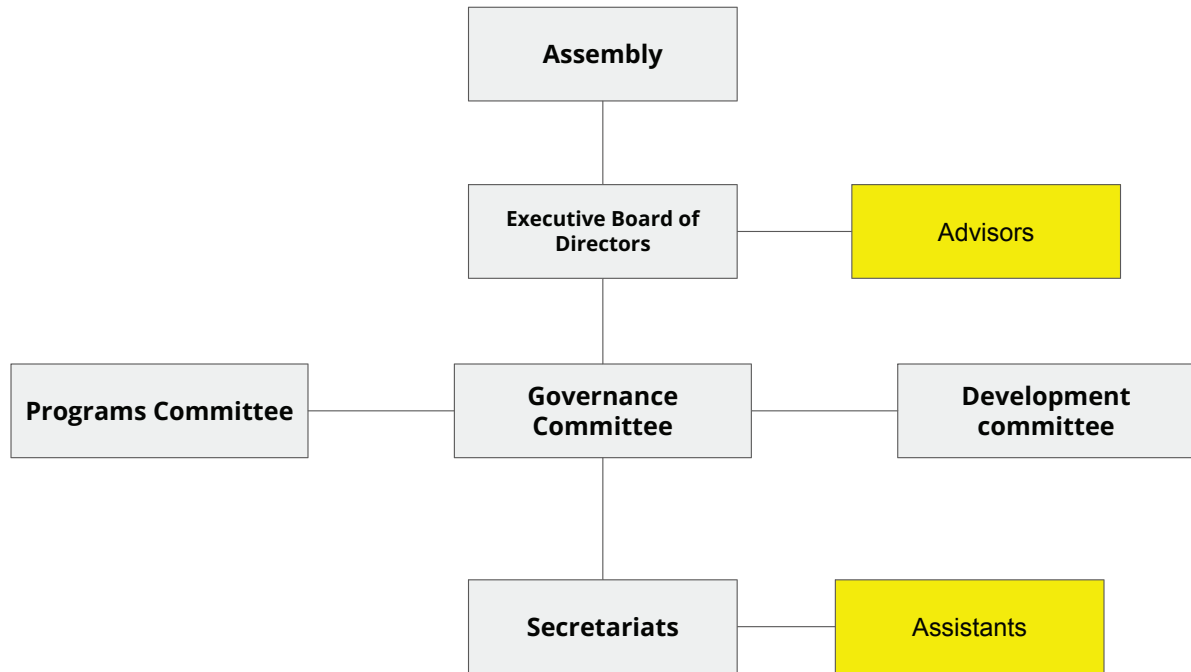


**Chea Chanthou**  
Finance/Admin Coordinator



**Prom Soknan**  
Programs Coordinator

## Organizational Structure



## APSWC Strategic Planning

In July 2022, a strategic planning workshop was organized by APSWC which involved APSWC's leadership, staff, social workers, and social work students to collect inputs on the ***Situation, Core Competencies, Obstacles, Prospects, and Expectations (SCOPE)*** of APSWC's works.





## Situation

1. A lack of national and sub-national framework for job classification and practice standards:

- Lack of accreditation/licensing system for social workers
- Lack of guidelines for social work practices
- Lack of benchmark for capacity building, monitoring, evaluation
- Low pay and benefits; SW is seen as a basic role

2. A lack of professional network or collaboration coordination.

- Lack of unity among social workers
- Lack of collaboration mechanisms between social workers across NGOs & government
- Lack of a broadly connected social workers network

## Situations (con't)

3. A lack of infrastructures for professional training, support, social protection resources:

- Lack of commonly accessible capacity building programs
- Lack of emotional support mechanism for social workers
- Few higher education programs
- Lack of pathway for career progression (demotivation to pursue the social worker role)
- Inadequate resources for clients and social workers in the community

4. Misconceptions of social worker profession among the public:

- Social worker are addressed as 'NGO staff' or 'Teachers' rather than their actual title
- Social workers are misunderstood with other similar professions (e.g. health worker, educator, )

## Outcomes & Measurements

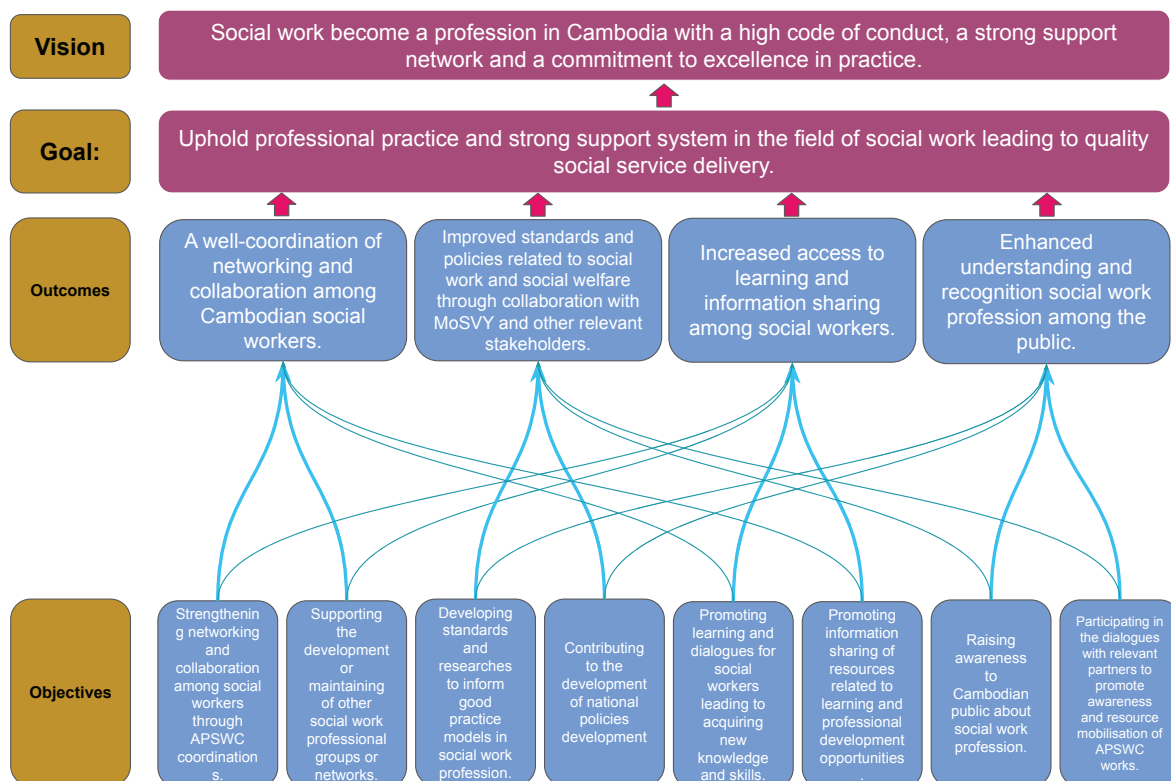
Outcomes	Measurements
A well-coordination of networking and collaboration among Cambodian social workers	Number of collaborations among social workers through APSWC's coordination
Improved standards and policies related to social work and social welfare through collaboration with MoSVY and other relevant stakeholders	Number of SW policies or SoPs (at internal & national level)
Increased access to learning and information sharing among social workers leading to a more effective service delivery	Number of social workers engaged through APSWC membership, events, and digital platforms
Enhanced public understanding and recognition of social work profession	Percentages of program boundaries who are able to describe social work definition correctly

## Strategies Objectives

### Program Objectives:

- Strengthening networking and collaboration among social workers through APSWC coordinations.
- Supporting the development or maintaining of other social work professional groups or networks.
- Developing standards and researches to inform good practice models in social work profession.
- Contributing to the development of national policies development.
- Promoting learning and dialogues for social workers leading to acquiring new knowledge and skills.
- Promoting information sharing of resources related to learning and professional development opportunities.
- Raising awareness to Cambodian public about social work profession.
- Participating in the dialogues with relevant partners to promote awareness and resource mobilisation of APSWC works.

## 2020-21 Programming - Theory of Changes



## Logical Framework

Description	Result Chains	Indicators	Mean of verification	Risks & Assumptions
<b>Goal</b>	<b>Uphold professional practice and strong support system in the field of social work leading to quality social service delivery.</b>			
<b>Outcome 1</b>	<b>A well-coordination of networking and collaboration among Cambodian social workers.</b>	Number of collaborations among social worker through APSWC's coordination.	Members survey report	Social workers actively participate in the events or platforms organized by APSWC.
<b>Objective 1.1</b>	<b>Strengthened networking and collaboration among social workers through APSWC coordinations.</b>			Include networking activities in all other APSWC's workshops/events Members relationship strategy is developed and implemented consistently.
Output 1.1.1	Public professional networking events organized.	Number of professional networking event is organized. Number of social workers participated in the public gathering event.	Event report	
Output 1.1.2	Increases interactions and peer-supports for the current social work members.	Number of support activities provided to current social workers members. Number of current SW members participated.	Meeting minute Activity reports	
<b>Objective 1.2</b>	<b>Support the development or maintaining of other social work professional groups or networks.</b>			
Output 1.2.1	Financial or technical support provided to other social workers groups or networks.	Number of other social workers groups or networks engaged. Number of support or partnership activities provided.	Meeting minute Partnership agreement	

## Logical Framework (con't)

<b>Outcome 2</b>	<b>Improved standards and policies related to social work and social welfare through collaboration with MoSVY and other relevant stakeholders.</b>	Number of SW policies or SoPs (at internal & national level)	Standards or policy drafts/adoption	
<b>Objective 2.1</b>	<b>Develop standards and researches to inform good practice models in social work profession.</b>			
Output 2.1.1	Internal standard is developed to determine and maintain the professional practices among social workers.	The guideline of professional standards is developed. Number of social workers pledged to the professional standards.	The guideline document. Membership database	
Output 2.1.2	Research papers informing the gaps in social work and social welfare practice is produced and shared with relevant stakeholders.	Number of research report developed. Number of people participate in the findings dissemination.	Research report Event report	We are able to recruit a volunteer professional or advisor to lead the research project.
<b>Objective 2.2</b>	<b>Contribute to the development of national policies development.</b>			
Output 2.2.1	National policies or guidelines were developed with the technical or financial support from APSWC.	Number of policies drafted or adopted.	Drafted or adopted policy document	MoSVY actively engage APSWC in the policy working group. APSWC Program Coordinator and EBD has the time and capacity to provide technical support to MoSVY.

## Logical Framework (con't)

<b>Outcome 3</b>	<b>Increased access to learning and information sharing among social workers leading to a more effective service delivery</b>	Number of social workers engaged through APSWC membership, events, and digital platforms	Survey report	
<b>Objective 3.1</b>	<b>Promote learning and dialogues for social workers leading to acquiring new knowledge and skills.</b>			
Output 3.1.1	A national social work conference is organized.	Number of social work conference organized. Number of participants in the conference.	Event report	
Output 3.1.2	Social work career path forum is organized.	Number of annual SW career path forum organized. Number of participants in the career path forum.	Event report	Outsource guest speakers who are former SW student with successful career in SW
<b>Objective 3.2</b>	<b>Promote information sharing of resources related to learning and professional development opportunities.</b>			
Output 3.2.1	Virtual platforms for learning and information sharing developed and maintained.	Number of media platforms developed. Number of social workers engaged through the media platforms.	Active platform with contents shared	APSWC has the capacity to effectively create contents and coordinate virtual information sharing.
Output 3.2.2	An official website is launched.	Number of website is developed.	Live website address	

## Logical Framework (con't)

<b>Outcome 4</b>	<b>Enhanced public understanding and recognition of social work profession</b>	Percentages of program boundaries who are able to describe social work definition correctly	Survey report	
<b>Objective 4.1</b>	<b>Raise awareness to Cambodian public about social work profession.</b>			
Output 4.1.1	National Social Work Day is organized	Number of social work day event organized Number of participants in the social day event	Event report	
Output 4.1.2	Video and media contents related to the topic is developed	Number of video content developed. Number of people engaged in the contents.	Finished video content. FB post reach report	
<b>Outcome 4.2</b>	<b>Participate in the dialogues with relevant partners to promote awareness and resource mobilisation of APSWC works.</b>			
Output 4.1.1	Established partnership or alliance with national and international bodies.	Number of new partnership or alliance created.	Partnership agreement or minute	

## Key Activities 2023

Date	Activities / Events
January	Cambodia Social Worker Gathering 2023
February	Social Worker Career Path Forum 2023
March	World Social Work Day Celebration 2023
April /May	Social work research launching
June/July	Annual Members Gathering
August/September	Social Work Conference
October/ November	APSWC 1st Assembly
December	Executive Board of Directors transition

## Membership

**We are a membership association who consist of three types of membership:**

- 1. Professional social worker:** Cambodian, a professional with social work degree.
- 2. Para-professional social worker:** Cambodian, a professional without a social work degree.
- 3. Honorary Member:** Cambodian or non-Cambodian who have contributed to founding and development of APSWC.

### *What does being an APSWC member mean?*

- Recognized by APSWC for your commitment and qualification in the field of social work.
- Demonstrates professional affiliation with APSWC in public;
- Access to APSWC's seminars, events, and other capacity building and networking programs;
- Access to reports, publications, and regular updates from APSWC;
- Requests or contributes inputs through APSWC in advocating for social development or problems affecting local social workers;
- Opportunities to be nominated for open positions in the Executive Board of Directors team of APSWC based on the APSWC's by-law;
- Rights to partake in nominations and key decisions of policy making of APSWC;
- Privilege to participate in open discussions during assembly, extraordinary assembly, and other meetings;
- Request for other specific supports.

# Membership Application

## How to apply for membership:

1. Complete the APSWC membership application form
2. The application will be reviewed to assess if the individual is eligible
3. Provision of official membership (membership certificate)

**Membership fee:** annual fee is \$15 for 1st & 2nd membership type, and free of charge of honorary members.

For more information, please refer to our Membership Guideline, or below contact:

- *Prom Soknan (Program Coordinator)*
- *Address: [programs.secretariat@apswcambodia.org](mailto:programs.secretariat@apswcambodia.org); 0963319024*

Promote recognition of social work profession



What do we do?



Strengthening the network and cohesion of social workers



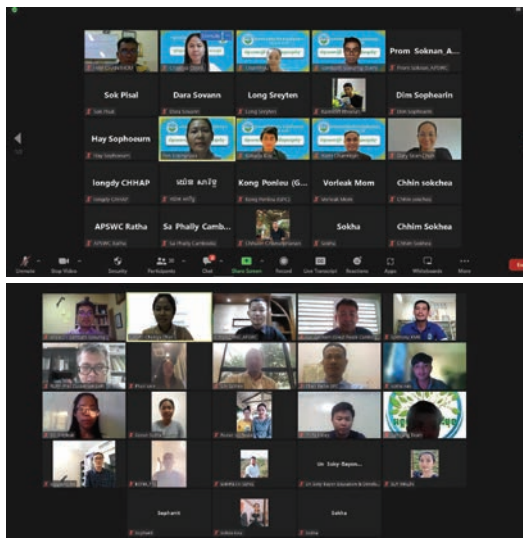
Contribute to capacity building for social workers

**SOCIAL WORK SEMINAR!**  
**UNDERSTANDING THE SOCIAL WORK PROFESSION**  
 November 27, 2021  
 1.30-4.30 (pm)  
 Participating virtually via Zoom

**Workshop Fee: Free!**  
 How Social Work is unique?  
 History  
 Definition & roles  
 Professional elements

**Contacts:**  
 secretariat.apswc@gmail.com  
 094-331-9024

\*Recommended for social service practitioners & workers  
 Registration at: <https://forms.gle/aF0gYHV73j1TDfz9>



What do we do?

What do we do?





THANK YOU

# **UNICEF Contribution for Social Service Workforce Strengthening in Cambodia**

---

## Context

- High prevalence of child protection issues, but lack of professional social service workforce (especially around 2015/2016) - Most child protection cases handled by NGOs or generic government staff – not dedicated to child protection, and also by various bodies (MoSVY, Mol..etc) which need further strengthening.
- 644 social service workforce for 100,000 child population (2019)
- Cambodia has on average **1** social welfare worker per **12,500** people which is significantly higher than other countries in the region. *For example, Singapore currently has 1 worker per 3,448 people and the Vietnam Government is seeking to provide education and train 65,000 social workers as part of the civil service by 2020, making the ratio 1 worker per 1,484 people.* Based on the standard of 1 social worker per **5,000** people, Cambodia would need about **3,000** social workers.
- A need for formalization and massive capacity building to meet the needs of the vulnerable

## Business case for investing in social service workforce

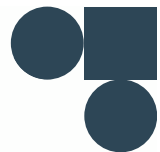
- **Business case for investing in social service workforce** is the highest level of advocacy framework.
- Aim is to achieve a worker-to-population ratio of 1 worker per **3,500** people
- For this, at least **4,500** social workers need to be recruited into the workforce
- To do this, the business case advocates for three levels of social service workers – through new recruitment and re-deployment (assignment) and their capacity building.

### Mid-Term target (2022-2027)

Job Level	Professional social worker (1 person per capital/provincial level),	Para-professional social worker(2 people per municipal/district/Khan),	Para-social worker (1 person per commune/Sangkat),	Total
# of positions	25	408	1646	2079
Annual Personnel Cost	USD 75,000	USD 844,560	USD 2,469,000	USD 3,388,560

### Long-term target (2028-2032)

Job Level	Professional social worker (4 people per capital/province)	Paraprofessional social worker (3 people per municipal/district/Khan),	Para-social worker (2 people per commune/Sangkat),	Total
# of positions	100	612	3,292	4,004
Annual Personnel Cost	USD 300,000	USD 1,266,840	USD 4,938,000	USD 6,504,840



## Key Interventions to strengthen social service workforce

---

### Policy and normative frameworks:

- Business case for investing in social workforce
- Mapping of SSWF in Cambodia
- Sub-decree on code of ethics for SSWF (draft)
- The law on Child Protection and SOP
- Strategic Plan on Strengthening SSWF
- Training Strategic Plan, Curriculum, Modules for SSWF capacity building.
- UNICEF supports to connect Cambodia with the regional platforms such as ASEAN on SSWF strengthening, such as Hanoi Declaration and development/launch of ASEAN Regional Guideline of Roles of Social Workers and SSWF in child protection/social protection.



### Institutional Reform

- Recruitment new Social Workers
- Assignment of civil servants to perform child protection and social work functions
- Job Description for province and district social service workforce
- Digitalization of Case Management System (Primer)



# Thanks

---

# Japan's Experience: building system of care and Social Service Workforce development

Mariko Kimura, Ph.D  
With contribution by Masa Oohashi, MSW  
Japanese Federation of Social Workers &  
Japanese Association of Mental Health  
Social Workers  
mkimura1951@gmail.com



## About Japan and Kingdom of Cambodia





[https://groo-vy.com/cambodia\\_japan/](https://groo-vy.com/cambodia_japan/)



[https://www.mofa.go.jp/mofaj/s\\_sa/sea1/kh/page23\\_004056.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/kh/page23_004056.html)



## Cooperative Relation



<https://www.kunaicho.go.jp/page/gonittei/photo/1383>



日本国旗  
カンボジア国旗



¥50

## Together with JAPAN & CAMBODIA





Kingdom of Cambodia

Population: 16,713,015  
(72th in the World)

GDP: \$28,000 billion  
GDP/per Person \$1,752(US\$)

<https://en.wikipedia.org/wiki/Cambodia>

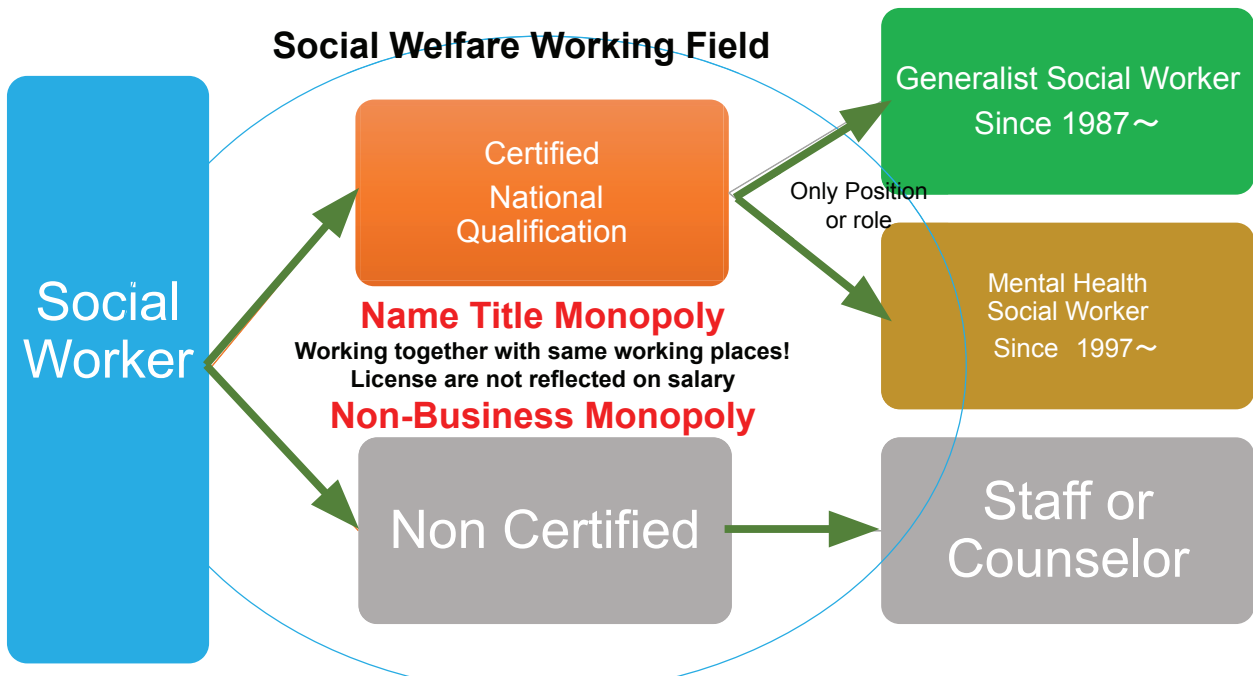


Japan

Population: 126 million  
(10th in the World)

GDP: \$588 trillion  
GDP/per Person \$46,827(US\$)

Government of welfare services:  
Ministry of Health, Labor and Welfare  
HP: <https://www.mhlw.go.jp/english/>



	Japanese Notation	English Notation	Certification	Law	Work Fields
<b>Social Worker</b>	社会福祉士 (医療ソーシャルワーカー) (学校ソーシャルワーカー)	Certified Social Worker <b>Medical Social Worker (MSW)</b> <b>(SSW) School Social Worker</b>	National Certification	Social Worker and Care worker Act 1987~	Health, Medical, Hospital, Private Facilities, Welfare Facilities, Government School, Company, Independent, other
	精神保健福祉士 (学校ソーシャルワーカー)	Mental Health Social Worker School Social Worker	National Certification	Mental Health Social Worker Act 1997~	Health, Medical, Mental Hospital, Welfare Facilities, Government Justice, School, other
	ソーシャルワーカー 学校ソーシャルワーカー 生活保護ワーカー 社会福祉主事	Social Worker School Social Worker Welfare Case Worker	Non	Non	Health, Medical, Welfare, School Government
<b>Care Worker</b>	介護福祉士	Certified Care Worker	National Certification	Social Worker and Care worker Act	Health, Medical, Hospital, Elderly facilities, Welfare Facilities, Family Affairs
	保育士	Child Care Worker	National Certification	Child Care Act	Day care, welfare, Health Education

## Working fields in Social Welfare Arena

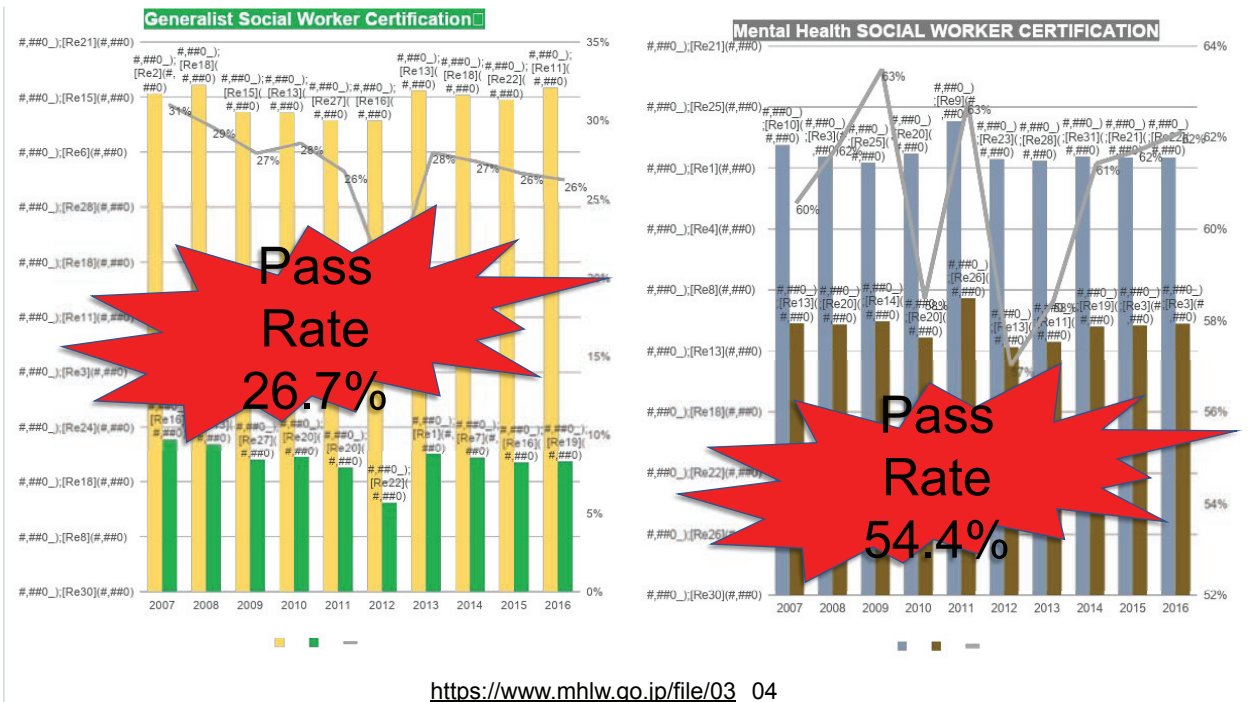


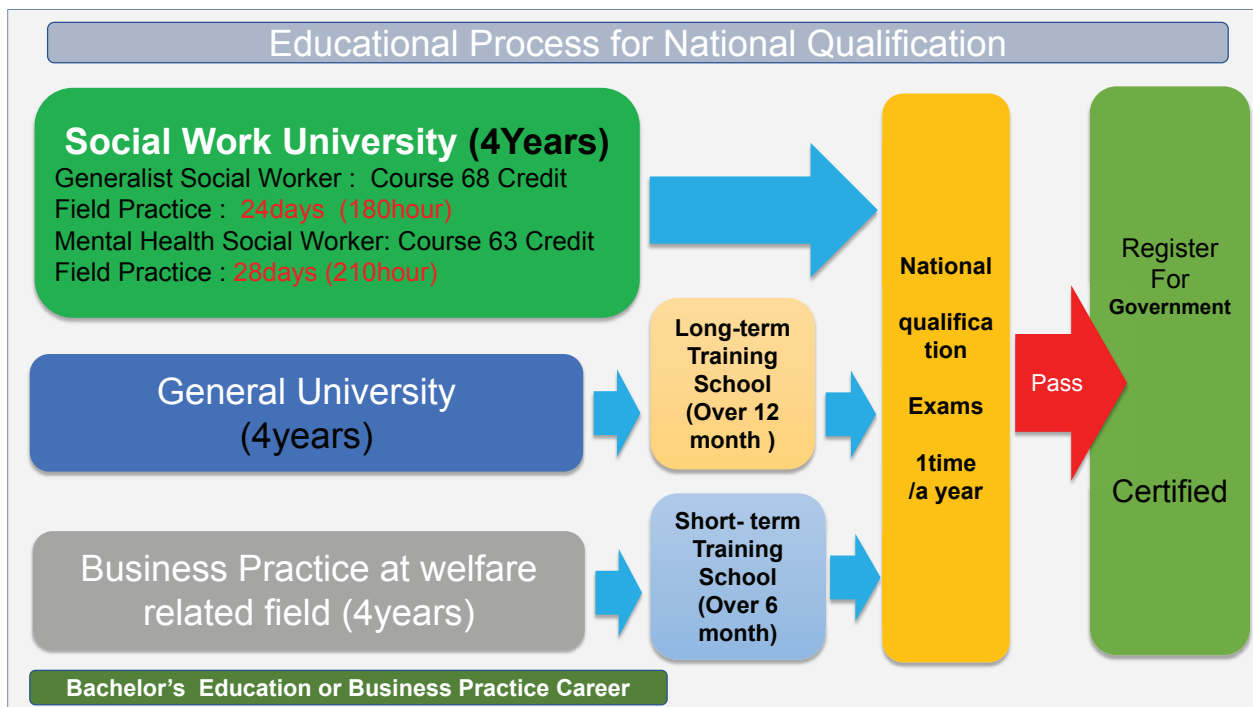
Japanese social workers are employed by social services institutions, where they are responsible for providing social services utilizing service coordination and counseling functions. Social Workers Associations make policy recommendations and they are politically active.





[https://www.sssc.or.jp/touroku/pdf/pdf\\_tourokusya\\_month\\_r412.pdf](https://www.sssc.or.jp/touroku/pdf/pdf_tourokusya_month_r412.pdf)





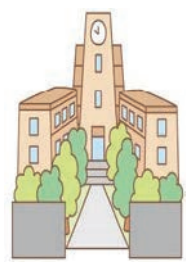
## Social Work Schools in Japan

4 years University & College with Graduate School **110**

4 years University & College **89**

2 years Junior College **10**

Vocational schools **73**



774 universities in Japan  
About 80% ; private universities

International Association of School of Social Work (IASSW) membership **120**

Asian and Pacific Association for Social Work Education (APASW) membership **282**

# Professional Associations in JAPAN

## Japanese Federation of Social Workers (JFSW)

Coordinate Body for 4 Association



Japanese Association of  
Certified Social Workers  
Member: **41,656**



Japanese Association of  
Social Workers in Health  
Services  
Member: **5,401**



Japanese Association of  
Mental Health Social Workers  
Member: **11,246**



Japanese Association of  
Social Workers  
Approx: **600**

4 associations with **IFSW** membership

## Current Japanese Social Service issues

### ○ Aged society

- Increasing of the elderly living alone
- Shortage of elderly care workers
- High turnover rate and shortage of staff:  
coordinate service and advocacy for rights



### ○ Low birth rate of the younger population

### ○ Professionalism vs

### non-monopolized system

- Non-occupational licensing/Some wage differences

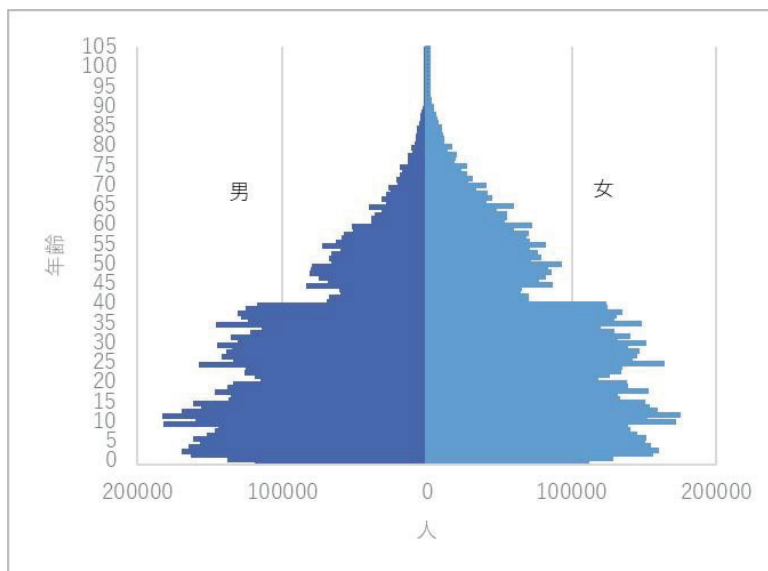


## Need for social care service workers: Aging society and need for elderly care

- Ahead of the world, Japan's trend of population aging increased fast among developed countries
- Japan has formed a system: building a system of care service coordination for the care of the elderly
- Compared with those of the Western countries, Japan is still inclined to respect the family value system, however, it is not dependable any longer as source of instrumental support

How to care for and run the service, Japan has developed the system of care and service coordination in the world—though there is a shortage of care workers!

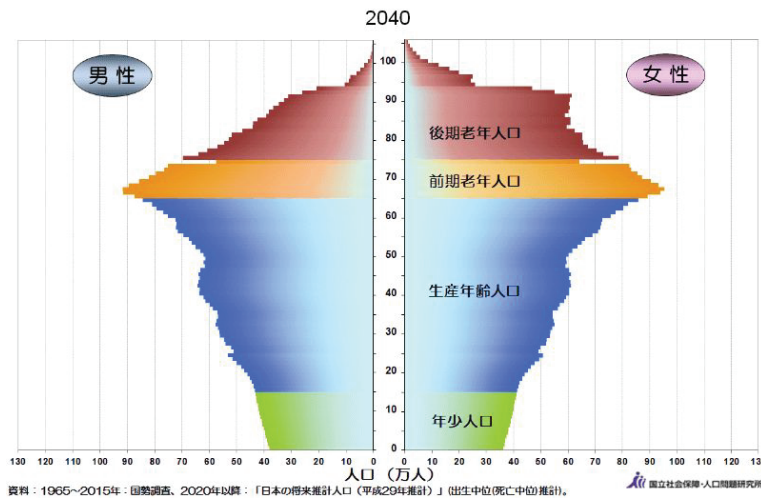
### Cambodia: Population pyramid (2019)



- Younger cohort(15-40) is relatively growing
- It will take another 20 years to reach 70
- Focus is on younger and working age cohorts

• Source: JETRO Study (2019)

## Japan's population pyramid (2020)



- ■ production cohort decreasing
- largest sector between age range old and old old: 68~78
- youngest cohort decreasing

## Building a social care system with the training of care professionals

- Policy and Planning level: Taking time for the system to be built by reaching the political and policy agreement
- Building a system of care: Social workers (service coordination and counseling, and community development). training care professionals (care workers) , and allied professionals

## Forecasting the care focus according to the change of the demographic trend

- Where the population is growing: Now—attention and service focus may be on children and family—
- Shift of focus—Adults, labour and health & mental health, developmental disabilities, etc
- And society may gradually shift from family care to the **social care**
- **Social Care** means that the focus of responsibility is shifting from family (private) to socially managed care system (public)
- **It requires a lot of planning at the government level**

## Why social workers solidarity important in the present world?

- **Influence of Globalization: Negative or positive?**
- **But we are in it !**
- **Social issues are borderless, influencing and affecting countries crossing borders!**
- **Problem of Social workers training framework: regulated within the national statute**
- **National Statute: Not responding to the global issues**

ご清聴  
ありがとうございました

Thank you for listening



---

---

愛恵福祉支援財団 国際支援企画委員会  
カンボジア視察 報告書

---

2023年5月25日 発行

発行者 公益財団法人 愛恵福祉支援財団  
〒114-0015 東京都北区中里2-6-1  
TEL 03-5961-9711 FAX 03-5961-9712  
e-mail : loveandgrace@aikei-wf.or.jp

印刷 アーク印刷株式会社

---

---



